

# 彩色園水田の生物調査リスト

小金井環境市民会議 環境学習部会「田んぼの時間」

## Flora and Fauna around the paddy field in Saishikien gardens, Tokyo Gakugei University

Environment Learning Group of Citizens council for Environment in Koganei City

小金井環境市民会議の環境学習部会「田んぼの時間」は、生物と共存するための稲作技術を東京学芸大学の彩色園で試験してきました。彩色園は30年以上にわたって、防虫剤や除草剤などの農薬は原則的に散布していません。研究用ガラス室などの試験区でのみ、まれに殺虫剤を散布しました。

環境学習部会の専門家の調査結果の詳細を同部会の許可を得て要約しました。この結果によると、彩色園では生物多様性が回復して、著しく高いことがわかりました。ありきたりの管理をすることで、今となつては、ありきたりではない生物多様性が高まり、都市近郊でも、とても多くの他生物種と共存できる可能性を示すことができました。

たくさんの学生や教職員の方々とともに環境学習活動・保全活動を行ってきた結果として、深い愛着を持って下さる方々、学生のころからファンであったとお話し下さる卒業生、近隣の市民の皆様はとても多く、著者は40年近く彩色園の保全、育成管理を担当してきて、再来年には定年退職しますが、植物学者として仕事への誇り、達成感、充足感に満たされています。(紹介文=木俣美樹男)

### 環境教育研究センターの水田周辺の生物多様性

植物		昆虫・動物		水生生物	
科名	種数	科名	種数	科名	種数
イネ	9	イトトンボ	2	ゲンゴロウ	2
オモダカ	1	トンボ	5	トンボ(やご)	1
キク	11	キリギリス	5	イトトンボ(やご)	1
アカバナ	1	コオロギ	3	アマガエル	1
タデ	3	ケラ	1	アカガエル	1
イグサ	1	ヒシバツタ	1	アオガエル	1
マメ	1	オンブバツタ	1	ヒキガエル	1
カタバミ	1	イナゴ	1	モノアラガイ	1
トウダイグサ	2	バツタ	1	サカマキガイ	1
アブラナ	3	セミ	1	ユスリカ	1
アカザ	1	アメンボ	1	イトミミズ	1
ゴマノハグサ	3	イトアメンボ	1	メダカ	1
スベリヒユ	1	シテムシ	1	アメリカザリガニ	1
トクサ	1	ゲンゴロウ	2	<b>合計</b>	<b>14</b>
ツユクサ	1	カブトムシ	1	(監修：平井正風)	
キンポウゲ	1	カナブン	1		
バラ	1	テントウムシ	1		
ドクダミ	1	スズメバチ	3		
セリ	1	ドロバチ	1		
シソ	2	ミツバチ	1		
アカウキクサ	1	ヤマアリ	1		
ミズアオイ	1	ヒラタアブ	1		
アミミドロ	1	ニクバエ	1		
トチカガミ	1	ムシヒキアブ	3		
ホシクサ	1	アゲハチョウ	3		
アワゴケ	1	シロチョウ	3		
アオミドロ	1	シジミチョウ	2		
<b>合計</b>	<b>53</b>	タテハチョウ	2		
(監修：池竹則夫)		ジャノメチョウ	1		
		ハエトリグモ	1		
		コモリグモ	1		
		オカダンゴムシ	1		
		モグラ	1		
		<b>合計</b>	<b>55</b>		
		(監修：高橋利行)			

\*東久留米農場を廃止して、小金井農場に水田を造成したのは35年ほど前であった。小金井環境市民会議の皆様への調査結果(2011年6月、7月)に示されているように、これほどまでに生物多様性が豊かに保持されてきたことは素晴らしい。



